

中国にらみ連携強化

島サミット名護で開幕

政府が太平洋の大小の島からなる島しょ国を招いて地域課題を協議する第6回「日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議」（太平洋・島サミット）が25日、名護市の万国津梁館で開幕した。中国の太平洋での影響力拡大をにらみ海洋安全保障を議題に取り上げ、初参加の米国とともに「航行の自由の尊重」に向けた地域の連携強化を確認する方針だ。（2・23・29面に関連）



26日に取りまとめる首脳宣言には、自然災害の際の迅速な復旧費調達に向けた保険制度創設や再生エネルギーの促進支援、日本と地域の防衛交流拡大を盛り込む。

野田佳彦首相は25日夜、各国首脳らを招いて夕食会を開き「東日本大震災の経験を共有し、各国の防災対策にも貢献したい。忌憚のない意見交換で絆を深めたい」とあいさつした。日本政府は島しょ国との関係強化によって南太平洋

の漁場を確保し、国連安全保障理事会の常任理事国入りで支持を得たい考えだ。一方、中国は島しょ国と経済や軍事面の結び付きを強めて資源獲得を狙っているとされる。外務省によると、2005～09年に総額約6億ドル（約480億円）を援助した。06年に軍事クーデターが起きたフィジーに対しては日本やオーストラリアの支援縮小とは逆に援助額を増加させ、温家宝首相ら要人も相次いで訪問した。フィジーは今回のサミットを欠席した。こうした動きに對抗し、オバマ米政権も昨年6月にキャンベル国務次官補を島しょ国へ派遣し、経済協力の強化を表明して巻き返しを図った。

夕食会 太平洋の絆確認



夕食会で出席者と共にカチャーシーを踊る野田佳彦首相（右から2人目）＝25日、名護市・万国津梁館

【名護】第6回太平洋・島サミット（PALIM6）の首脳夕食会が25日、名護市の万国津梁館で開かれ、主催した野田佳彦首相や

は協力関係を強化し、絆を強める準備ができています」とあいさつ、全員で乾杯した。夕食会では沖縄の食材を使った料理が出されたほか、琉球交響楽団が沖縄民謡などを演奏。野田首相や各国首脳らのカチャーシー

の管理などを首脳に提言した。夕食会で、共同議長の高橋洋一は「太平洋諸国の首脳は「太平洋諸国の首脳は協力を強化し、絆を強める準備ができています」とあいさつ、全員で乾杯した。夕食会では沖縄の食材を使った料理が出されたほか、琉球交響楽団が沖縄民謡などを演奏。野田首相や各国首脳らのカチャーシー

沖縄タイムス
2012年5月26日(土)